

質問箱

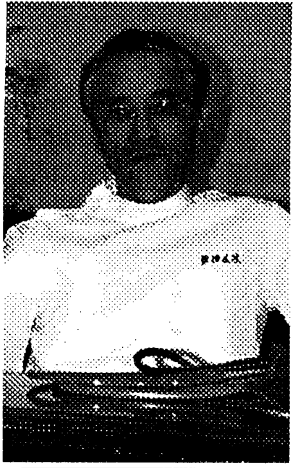
Q・基本健康診査で尿潜血反応(+)といわれました。どうしたら良いでしょうか?特に何の症状もありません。

A・基本健康診査で要医療となる人のうち最も多いのが、尿潜血反応陽性です。

精密検査をしてもほとんどの方が、異常なしと言われます。尿潜血反応陽性のとき考えなければならぬのは、腎、尿管、膀胱などの腫瘍、慢性腎炎、くりかえす膀胱炎などです。これは、尿検査の再検、血液検査、超音波検査、CTなどで診断します。

この他、腎のう胞(腎の一部に水が溜まっている)、運動による尿路出血などもあります。これらはあっても放置してもよいものです。毎年同じことを言われている人も、一年に一回は、精密検査を受けましょう。

院長



糖尿病と

共存して二十年

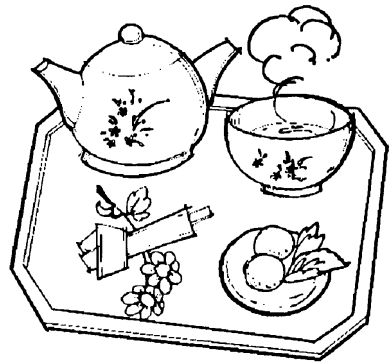
磯崎藤子

私は別に自覚症状があつて糖尿病が発見された訳ではありません。五十代の終わり頃、時々胃の調子が悪く背中がはるので、小田原市内の病院で精密検査をして貰ったところ、始めは肝臓が悪いと言われ通院してましたが、その後、血糖検査の結果、始めて糖尿病であることを知らされました。



始めはまさかと驚きましたが糖尿病は一生の病気で、食事と運動療法の大切なことを教えられ、院長みずから玄米のおむすびを持ってこられ、試食させて頂き、別の部屋で糖尿病患者さんを集め食事療法の話を聞かされました。私は早速帰りに圧力釜を求め翌日から玄米食に挑戦しました。副食は淡泊

なもので余り油こい物は欲しくなくなり、玄米の中に、自分流に大豆と小豆を少しいれました。



食事療法の玄米食も少しあき気味で二年位後には白米食になり、でも心配になるので保健所で血糖値をしらべて貰いましたら、少し高いからお医者さんでお薬を貰うよう指示を受け、それで市内の奥津医院に通うようになりました。私は長い間、決して優等生の患者ではありませんで、先生のお言葉を借りれば「まあまあ」の患者らしいです。

来院のその時により、血糖値の上下はありますものの、余り無茶はしません。結果は自分自身に戻ってくるから恐ろしいです。一年に一回ある糖尿病教室にはつとめて出席し、先生や保健婦さんのお話を聞き、また同病の皆さんの体験談に耳をかたむけ、自分の療養態度を律し、何といたって食事と運動には二本の柱として心して居ます。

◎糖尿二十年最近のデータより
指示カロリー一四〇〇カロリー
糖尿薬一日半粒を一個
肝機能・腎機能総て正常
コレステロール二二八
空腹時血糖一二五
検尿、赤血球、白血球、血小板総て正常

磯崎さん、ご投稿下さりありがとうございます。いろいろ努力されているせいか、糖尿病歴が二十年もあるのにかかわらず、特別な合併症もなく、良好経過しておられます。ご努力の結果と思えます。

私もインスリン注射始めました。

糖尿病には、インスリンの注射療法が最も良いことは分かっていたのですが、これまでの一日一回の注射、二回注射法は、納得できないので、移行をためらっておりましたが、昨年の十月インスリンの三回注射法について講演会がありました。これが、これだという感じで、いろいろ準備をし、十一月より開始しました。具合が良かったら、皆様にも紹介しようと考えています。

院長

☆新聞を発行してから、はや、三年になろうとしています。みなさまからの、ご質問、ご投稿をお待ちしております。

☆受付けからのお願い
月初めには必ず保険証を受付けにお出し下さい。診察券は毎回お持ち下さい。

1月・2月の休診日

(日曜・祭日
水曜・土曜・第一火曜午後)

1月13日(月)午後

1月14日(火)午後

